



平成 18 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 日本中央地所株式会社
代表者名 取締役社長 橋 本 正
(JASDAQ・コード 8 8 0 5)
問合せ先 経理部長 山上秀夫
電話 0 3 - 5 2 8 1 - 0 0 5 5

特別損失の発生等による平成 1 7 年 1 2 月期 (連結・単独) 業績予想との差異に関するお知らせ

平成 17 年 12 月期 (平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日) の業績予想について、平成 17 年 8 月 25 日付当社「平成 17 年 12 月期中間決算短信 (連結)」及び同日付当社「平成 17 年 12 月期個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 1 7 年 1 2 月期 単独業績予想の修正等 (平成 1 7 年 1 月 1 日 ~ 平成 1 7 年 1 2 月 3 1 日)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	2 1 , 5 0 0	1 , 0 1 0	6 8 0
今回修正 (B)	2 3 , 1 8 5	1 , 1 9 8	7 3 0
増減額 (B - A)	1 , 6 8 5	1 8 8	5 0
増 減 率	7 . 8 %	1 8 . 6 %	7 . 4 %
前期 (平成 16 年 12 月期実績)	1 7 , 4 8 4	5 7 2	1 2 , 6 2 6

修正理由

売上高は、不動産販売事業において、契約が順調に進捗し、平成 1 8 年度引渡を見込んでいた一部物件の引渡が今期に繰り上がったこと等の要因により、前回予想を 1,685 百万円上回る見込みであります。

経常利益は不動産販売事業における売上増加にともなう粗利増、一般管理費の削減等により前回予想を 188 百万円上回る見込みであります。

特別利益として業績予想に織り込み済みであった固定資産売却益等 43 百万円を計上、特別損失として株式交換関係費用 54 百万円、販売用不動産評価損 78 百万円等を計上したことにより、当期純利益については前回予想比 50 百万円増にとどまり 730 百万円となる見込みであります。

2.平成17年12月期 連結業績予想の修正等(平成17年1月1日~平成17年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	22,350	1,020	660
今回修正(B)	24,001	1,205	709
増減額(B-A)	1,651	185	49
増減率	7.4%	18.1%	7.4%
前期(平成16年12月期実績)	18,430	594	12,628

修正理由

単独決算の業績予想の修正に伴い、連結決算の業績予想を修正いたします。

以上